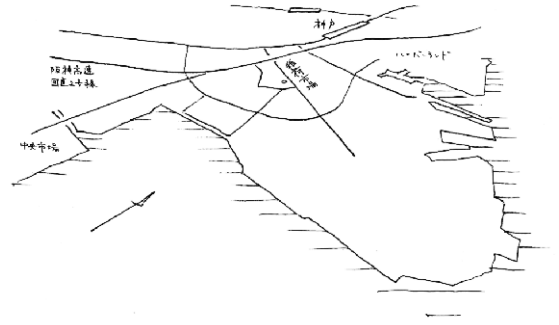


まちのレシピ その②

まちをつくるには建築だけではなく、コミュニケーションも大切な要素のひとつ。今回は、修繕を始めた建物を「みきわめ」していく様子をご紹介します。

文・写真=赤松麻衣 もしもし広報担当



1 今回のお題

素材の みきわめ方

住みコミプロジェクト

2 チカちゃんハウス

木工家具をつくってほしいという家主さんの「ワガママ」に応じて、1階は工房そして『もしもし』の事務所となりました。2階は住みコミの住まいとなっています。

地下室があることから、「リカちゃんハウス」にちなんで『チカちゃんハウス』と名付けられました。ここが『もしもし』や学生、まちの人と一緒に、さまざまなアイデアを形にしていく、「住みコミュニケーションプロジェクト」の拠点となります。

みんなが自由な空間として楽しめる、そんな場所でありたい、と思っています。

3 素材をかくにんする



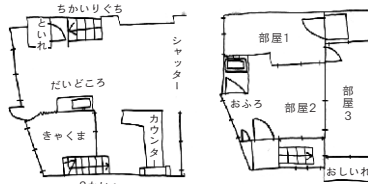
まずは素材となる壁などの寸法を測ります。床が歪んでいて、そのままでは正確な測定ができませんでした。そこで角材に紐を結び、水平距離を出してひと工夫。

4 みきわめ

ここは以前、韓国料理店『みよこ』でした。まずは店内を歩き回りました。前の人が置いていった、業務用の冷蔵庫、陳列棚、井戸引きのポンプ、焼肉のカウンターなどを発見しました。地下室には井戸があり、何年も人が入っておらずその湿気の多さに驚きました。

測量は困難でした。油汚れが体中につきます。地震で床が歪んでいるため、正確な寸法が測れません。そこで、角材と角材に紐を結び、水平距離を出すことでうまくいきました。戸惑いながらもシャッターの幅、壁、天井高などの実測をすませ、次はプランの相談です。

5 修繕前みとり図

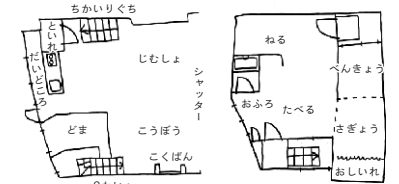


1F 韓国料理店舗

2F 店主住居

1階は焼肉の油汚れとほこりで汚れていました。シャッターは錆びて容易に開けられない状況。2階のお風呂には「ライオン蛇口」があり、ちょっと豪華です。

6 修繕後みとり図



1F 住みコミ事務所

2F 住みコミ住居

1階の住まいへの玄関となる空間は土間にし、休憩所としても利用できるようにしました。2階の部屋3をタタミから板張りに。壁は両階とも白く塗り替えました。

7 そうだん

実測が終わると現状模型をつくります。それを基におおまかな空間の把握をして、『もしもし』みんなでイメージを出し合いました。

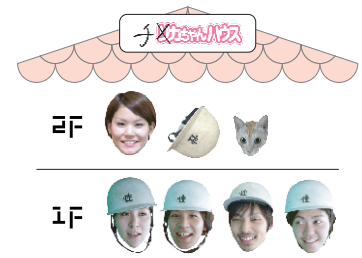
『チカちゃんハウス』は台所・トイレが1階にあります。相談していく上で話題の中心となったのは、住まいの機能が共有スペースと重複するということ。これは、1階の利用者が住みコミの生活を優先させるということで、お互い快諾することができました。また、2階の入り口となる場所は、1階の利用者も使用できるようにと住みコミが提案。ここに土間をつくることになりました。

8 模型づくり



1/50で現状を把握するための模型をつくりました。材料は主に、スチレンボードとプラスチック丸棒。まずは『もしもし』で使用する1階の相談から始めました。

9 利用者と住みコミスト



住みコミの「猫を飼いたい」というワガママがない、2階で愛猫『ぼきち』も一緒に住みコミ開始。この人々を中心に、これから工事を進めていきます。